

市営狐台住宅が完成間近

市では、快適で住みよいまちづくりのため市営住宅の建設を促進していますが、昨年度から二年事業で進められていた市営狐台住宅の完成が間近となっています。そこで、この狐台住宅の入居者を次により募集します。

3LDKの広い間取り

「市営狐台住宅」は、柄沢字狐台地内の住宅街のほぼ中心地に建設したもので、鉄筋コンクリート造り三階建、延べ床面積九百三十平方メートルの建物を一棟(十二戸)、総工費は一億二千三百万円です。



入居者を募集

同住宅は、六月中旬に完成し、七月一日から入居できる予定です。市では、この住宅に入居される方を公募します。

コニーなどを配置しており、余裕のある間取りとなっています。

▽募集戸数 十二戸

▽使用料 月額二万六千二百円(その他、浄化槽動力料、共益費などは入居者負担)

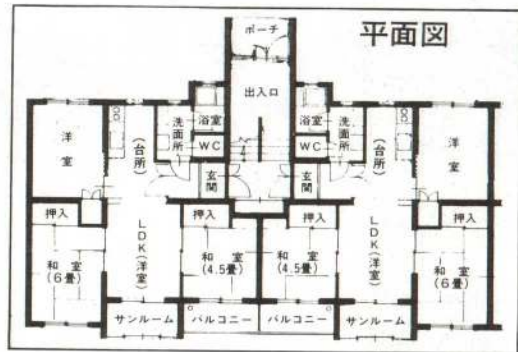
▽入居資格

○市内に住所又は勤務している方
○現在同居又は同居しようとする親族がある方
○政令で定める基準の収入をこえない方

(例)標準世帯(四人家族)で所得者一人の場合——年間収入額が三百二十六万円未満(月収二十八万円未満)の方は入居できます。

▽申し込み及び問い合わせ

五月二十日から六月十三日まで
都市開発課庶務係(内線310)へ



日ごろの備えて わが身を守ろう

■5月20日～26日は県防災週間
■5月は水防月間

四年前の五月二十六日は日本海中部地震が発生した日です。五月二十日から二十六日まで全県で防災訓練などが行われます。当市では二十六日正午にサイレンを鳴らして防災を訴えるほか、学校や職場で避難訓練などが行われます。

▽家族の安全は

「家族防災会議」から

いざというときにあわてないためにも、ふだんから防災について考えておくことが大切です。家族みんなで「家族防災会議」を開き、防災について話し合いたいものです。

62年度 広報市民リポーター決まる

日号から毎月一回「広報市民リポーターだより」を掲載します。

- ・市民リポーター
- ・石田一穂さん(32歳・御成町一)
- ・飯塚家司さん(39歳・新町)
- ・川上理佳さん(27歳・御成町三)
- ・佐藤康恵さん(40歳・川口)
- ・高杉義勝さん(56歳・繁沢)
- ・秦 震さん(62歳・鉄砲場)

皆さんから公募していただきました広報市民リポーターには九人の方から応募があり、審査の結果次の六人の方々に決まりました。市民リポーターの方々には、来年三月まで広報編集に参加していただき、皆さんに親しまれる広報づくりをしていきたいと思えます。なお、六月一日から

家族防災会議で話し合うこと

- ・家族の役割分担
- ・離ればなれになったときの家族の連絡方法
- ・火の始末と初期消火
- ・家具・危険物などの点検整備
- ・避難場所と避難路の確認
- ・水、食料などの備蓄と非常持ち出し品の準備
- ・災害についての正しい知識



市長の対話ノート

さわやか

桜、さつき、鯉のぼり、運動会、さわやかな五月晴れの風景です。三十八台の選挙カーが市内の隅々まで走り回った選挙戦も終り、街に静けさがよみがえった感じがします。この間大変お騒がせを申しわけございました。

お陰様で三選を果たさせていただきました。初心にかえて公約の実現のため全力を尽しますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

選挙は民主主義の原点であるとはいえ、敵、味方に別れて熾烈を極めます。それだけに、どうしてもシコリが残りがちになりますが、残してはなりません。なぜならば民主主義を守り、発展させなければならぬからであり、いま一つは不況克服に向けて市民は心を一つにして立ち向って行かなければならない時であるからです。

そして私の仕事の始まりは、それが出来るかどうかにかかっているといっても過言ではないでしょう。

五月晴れのように「さわやかに」、男らしく「きっぱり」と、さあ心新たに出発しよう。「力まず、あせらず、おごらず」に。市政の白紙委任を受けたのではなく、常に市民が主人公であることを忘れず明日に向けて今日ひたすらに。



No.152